

平城宮跡歴史公園 第一次大極殿院復原事業の概要

第一次大極殿院は、奈良時代後半、平城宮の中でも、国家で最も重要な儀式が行われていた空間で、その規模は東西約176.6m、南北約317.7mの広さです。

平城宮跡歴史公園では、この第一次大極殿院において往時の平城宮のあり方を体感できるよう、原位置・実物大での建造物の復原整備を順次進めています。

第一次大極殿院復原の意義

公園基本計画の基本方針に基づき、第一次大極殿院を復原することにより、以下の効果が期待されています。

- 復原建造物の見学を通じ、奈良時代の宮殿建築の規模や形状、さらには平城宮の壮大・壮麗・荘厳さを体感する
- 再現される往時の儀式・行事(古代演示)の見学等を通じ、その歴史・文化を体験的に学ぶ
- 空間特性を活かしたその場にふさわしい催事を開催し、来訪のきっかけづくりや新たな魅力発見の機会を提供できる

□ 第一次大極殿

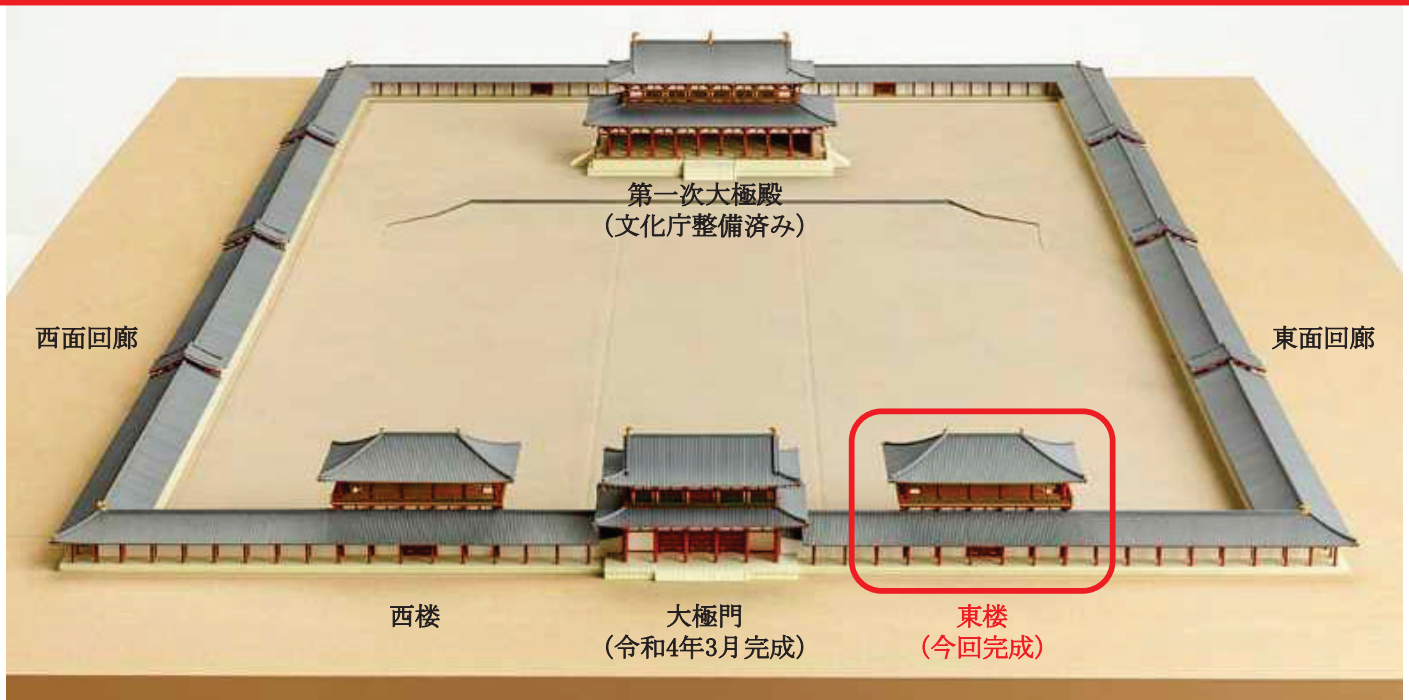
…即位や元日朝賀といった国家儀式や外国使節の謁見の際に、天皇が出御される建物です。文化庁により復原されました。

□ 大極門

…第一次大極殿院の正門です。儀式の際には天皇が出御されることもありました。令和4年3月に完成しました。

□ 東楼・西楼

…第一次大極殿院の創建期(I-1期:708~715)にはなく、730年前後(I-2期)に、築地回廊の一部を解体して増築された建物です。『続日本紀』天平8年(736)正月17日条に、聖武天皇が「南楼」において群臣に宴を催した記事があり、この「南楼」が東楼・西楼をさし、2階を用いた儀式(宴会等)が行われた可能性があるとされています。



第一次大極殿院復原整備状況
(令和8年1月撮影)

式典概要 および 会場位置図

■式 名：平城宮跡歴史公園第一次大極殿院東楼完成披露式典

■開催日時：令和8年3月14日（土）15:00～16:30（予定）

■式典会場：平城宮跡歴史公園 第一次大極殿院東楼前
（奈良県奈良市佐紀町地先）

■主 催：国土交通省 近畿地方整備局

■タイムスケジュール（予定）

14:00 受付開始

15:00 開式の辞

15:50頃 テープカット

16:20頃 閉式の辞、東楼見学

16:30 終了

■会場位置図

